

米・トキ・柿の種形武器

ご当地ヒーロー誕生

1211日長岡
12日新潟

「愛をこめたヒーローは、トキを越えてやってくる！」。そんなキャッチフレーズとともに、新潟のご当地ヒーロー「超耕21ガッター」が誕生した。写真、クラブビス提供。新潟市東区の印刷会社クラブビスの浅川進社長(44)が企画。キャクターは、秋田県で人気のヒーロー「超神ネイガー」を生み出した海老名保さん(40)がプロデュースした。顔には「米」の文字、肩にはトキ、足にはコンパイン形のプロテクター。柿の種形のカマ「ガッター・カッター」を武器に、米を食い荒らす怪人「ザリガニータ」や「モゾコキムシ」(もぞこき)新潟弁で「もっさりしている」の意)に

立ち向かう。

11日に長岡市のハイブ長岡、12日に新潟市の万代シティパークのイベントでデビューする。オリジナル紙

芝居も作り、希望する小学校や幼稚園などにプレゼントする。問い合わせはクラブビス(025・273・0125)。

